

整理番号

運搬確認申請書（記載例）

令和〇〇年〇月〇〇日

登録運搬物確認機関
公益財団法人原子力安全技術センター
会長 石田 寛人 殿

〇〇〇〇〇-〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇株式会社
代表取締役社長 〇〇〇〇

放射性同位元素等の規制に関する法律第18条第2項（同法第25条の5において読み替えて適用する場合を含む。）の規定により運搬の確認を申請します。

氏名又は名称	〇〇〇〇〇〇〇株式会社	
法人にあっては、その代表者の氏名	代表取締役社長 〇〇〇〇	
住所	〒〇〇〇-〇〇〇〇 東京都〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 電話番号(〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇)	
事業所等 又は 事務所	許可届出使用者等の区分	届出版売業者
	名称	〇〇〇〇〇〇〇株式会社 〇〇事業所
	所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇〇〇〇〇〇〇 電話番号(〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇)
	連絡員の氏名	〇〇〇〇 所属部課名 (〇〇〇〇部 〇〇〇〇グループ) 電話番号 () FAX番号 () メールアドレス()

運搬確認申請書 添付書類一覧表

添付1. 運搬する放射性同位元素等に関する説明書

添付2. 運搬する放射性同位元素等を収納する容器(以下「容器」という。)の構造、材質及び製作の方法(以下「容器の設計」という。)並びに当該放射性同位元素等を当該容器に収納した場合の放射性輸送物の安全性に関する説明書

添付3. 容器が容器の設計に従って製作されていることを示す説明書

添付4. 容器が容器の設計に適合するよう維持されていることを示す説明書

添付5. 放射性輸送物の発送前の点検に関する説明書

運搬する放射性同位元素等に関する説明書

1. 輸送容器名称

○○○○○○○○ No. ○○

予備 No. ○○、○○、○○、○○

* 申請した使用予定の容器が使用できなくなった場合、予備の容器の中から1台を使用する。

コメントの追加 [情報システム6]:

実際に使用する予定の容器の名称とNo. を記載し、その下段に、「予備」として使用する予定の容器の No. を記載します。

2. 運搬容器承認番号及び取得年月日

承認: 平成○○年○月○○日 ○○原規放発第 ○○○○号

RI容器 No. ○○○○

予備 No. ○○○○、○○○○、○○○○、○○○○

* 申請した使用予定の容器が使用できなくなった場合、予備の容器の中から1台を使用する。

コメントの追加 [情報システム7]:

輸送容器名称と同様の記載方法といたします。

3. 運搬する放射性同位元素等について

(1) 収納される放射性同位元素等の種類、数量、性状

核 種 : Mo-99

数 量 : 最大 ○○ TBq

(○○○○出発時: 日本時間○○月○○日○○時○○分)

物理的状态 : 液体

化学形等 : 酸化物

コメントの追加 [情報システム8]:

申請書本文に記載した放射性同位元素の数量を記載しません。記載する数量は、輸入元の製造工場出発時における数量とし、出発時の欄には製造工場所在地を記載します。

(2) 放射性同位元素等の使用に必要な書類、その他の物品以外の収納又は包装の有無なし

(3) ボルトの締め付け等、放射線又は放射能の漏洩を防止する措置

収納物の構造は、液体の Mo-99 をプラスチック製又はステンレス鋼製の直接容器(250ml)に入れ、ネジ蓋封入後、漏洩防止容器(○-○○)に入れ、ネジ封式カバーで密封する。

これをステンレス鋼で包まれた厚さ○○mm の劣化ウランしゃへい体容器(直径○○mm、高さ○○mm)に入れ、ボルトで蓋を確実に締め付ける。さらにステンレス鋼製円筒型容器(直径○○mm、高さ○○mm)に収納し、ボルトで蓋を確実に締め付ける。

4. 輸送容器の外観

別紙2の通り異常なし

5. シールの貼り付け等のみだりに開封されないような、また開封された場合にそれが明らかになるような措置

封印金具(合金製)を使用して封印する。

6. 線量当量率の最大値(Mo-99 : ○○ TBq 収納時の計算値)

(1) 輸送物表面 ○○○ μSv/h 以下

(2) 表面から1mの位置 ○○ μSv/h 以下

コメントの追加 [情報システム9]:

申請書本文に記載した数量を収納した場合の計算値とします。

7. 表面汚染密度

表面汚染密度を検査し、4Bq/cm²以下とする。

添付4

容器が容器の設計に適合するよう維持されていることを示す説明書

コメントの追加 [情報システム10]:
申請書に記載した全ての容器の説明書を添付します。

1. 輸送容器の種類及び名称並びに承認番号及び取得年月日
 - (1)種類 : BU型輸送物
 - (2)名称 : ○○○○○○○○型 No. ○○
 - (3)承認番号 : RI容器 No. ○○○○
 - (4)取得年月日 : 平成○○年○月○○日
 - (5)使用する期間 : 平成○○年○月○○日～平成○○年○月○○日
2. 検査日時・場所
令和○○年 ○月○○日
成田国際空港内
○○○○○○○株式会社 ○○事業所
3. 検査実施者及び検査立会い者
○○○○ (○○○○○○○株式会社)
○○○○ (株式会社○○○○)
4. 検査要領及び結果

検査項目	検査方法	結果
外観検査	目視による確認 ; 有害な傷、へこみ等がない	良好
パッキングの状態	劣化等機能に支障がない	良好
作動検査	(1) 吊具に有害な傷、へこみ等がない (2) 線源収納容器の上部プラグ、扉、ストッパーピンの作動に支障がない	良好
ボルトの状態	(1) 有害な傷、へこみ等がない (2) 腐蝕がない (3) ボルトの締め付け確認	良好
封印の状態	封印が施されている	良好
遮蔽検査	漏洩線量が基準値以下である	収納量(Mo-99) : ○○ TBq 表面 : ○○○ μSv/h 以下 at1m : ○○ μSv/h 以下
表面汚染検査	表面汚染密度が基準値以下である	検出されず

5. 総合評価
良好